

# 今後の普及展開策について

---

令和8年2月  
政策統括官付

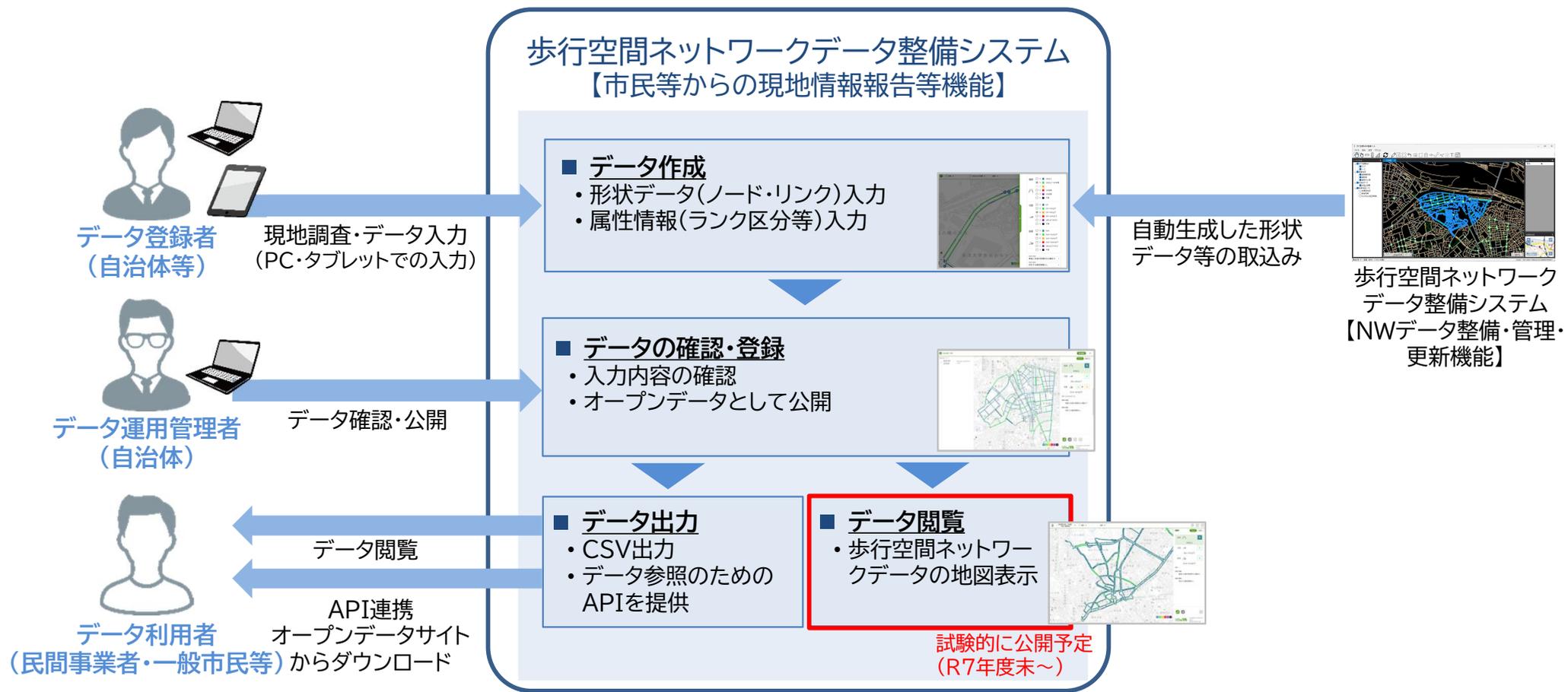


分類	今年度の実施事項	次年度以降の方針
①データ整備・更新・オープンデータ化の運用のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほこナビDPの活用を前提とした、データ整備・更新・オープンデータ化の運用方針を示すガイドラインの改定(案)の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用した取組であること等を踏まえ、技術動向や事例追加等によるアジャイル思考でのガイドラインの見直し</li> </ul>
②データの利活用方策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通オープンデータチャレンジ2025において歩行空間ネットワークデータの新たな利活用事例創出に向けたデータ公開を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほこナビDPの試行運用拡大</li> <li>・今年度に引き続き協議会等と連携しデータ利活用事例の創出に向けた対応を実施</li> </ul>
③国による技術支援のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体向けの講習プログラムの作成と運用方針を示すガイドライン(案)、マニュアルの提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地実証等による伴走型支援の実施</li> <li>・教育機関等向けの講習プログラムの検討</li> </ul>
④普及展開に向けた事例拡大のための戦略について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・G空間EXPOにおいて来訪者アンケートを実施し、人流も考慮した移動支援サービスへのニーズが高いという結果。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの事例において優先して検討できるよう取組を推進</li> </ul>



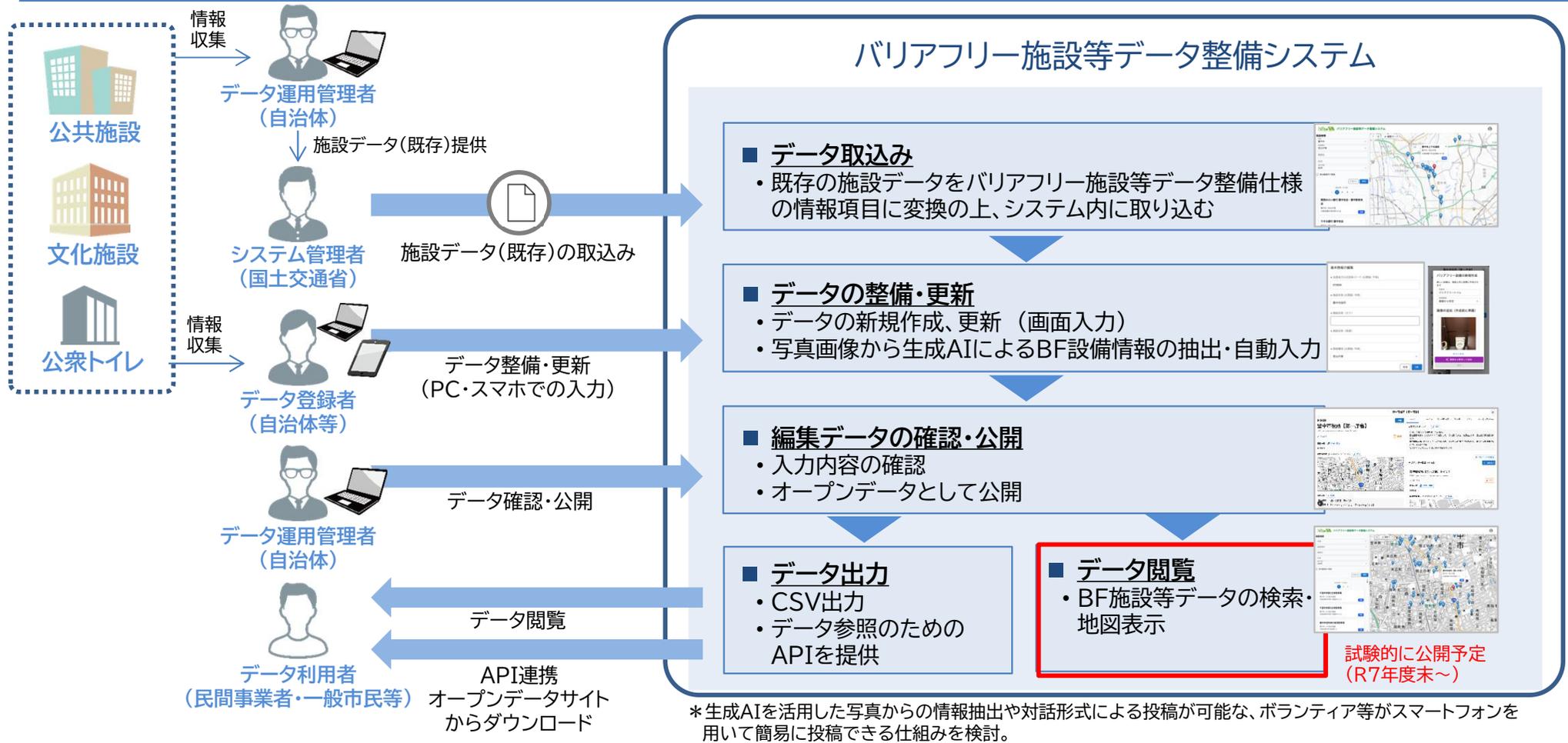
○歩行空間ネットワークデータ整備システムについては、今年度現地実証等で整備した赤羽駅周辺の歩行空間ネットワークデータとともに、今年度末までにデータ閲覧機能の試験的な公開を実施予定。  
○ランク区分等を編集する機能や形状データ整備機能については、次年度の準備が整ったタイミングで試行運用を実施予定。

## 歩行空間ネットワークデータ整備システム 全体イメージ 【市民等からの現地情報報告等機能】



○バリアフリー施設等データ整備システムについては、今年度現地実証等で整備した大阪府豊中市・池田市のバリアフリー施設等データと東京都のオープンデータであるバリアフリーストレデータとともに、今年度末までにデータ閲覧機能の試験的な公開を実施予定。  
○AIによる画像解析によるバリアフリー施設等を編集する機能については、次年度の準備が整ったタイミングで試行的な利用が出来るよう対応する予定。

## バリアフリー施設等データ整備システム 全体イメージ



○G空間EXPOで本施策ブースに訪問して頂いた方に対し、どんな移動支援サービスがあったら良いと考えるのかについてアンケートを実施。  
 ○アンケートの結果、「人流も考慮したバリアフリールート案内」の移動支援サービスが全体の約3割と最もニーズが高くなった。

## 移動支援サービスの選択肢

①自動配送ロボットによる宅配サービス

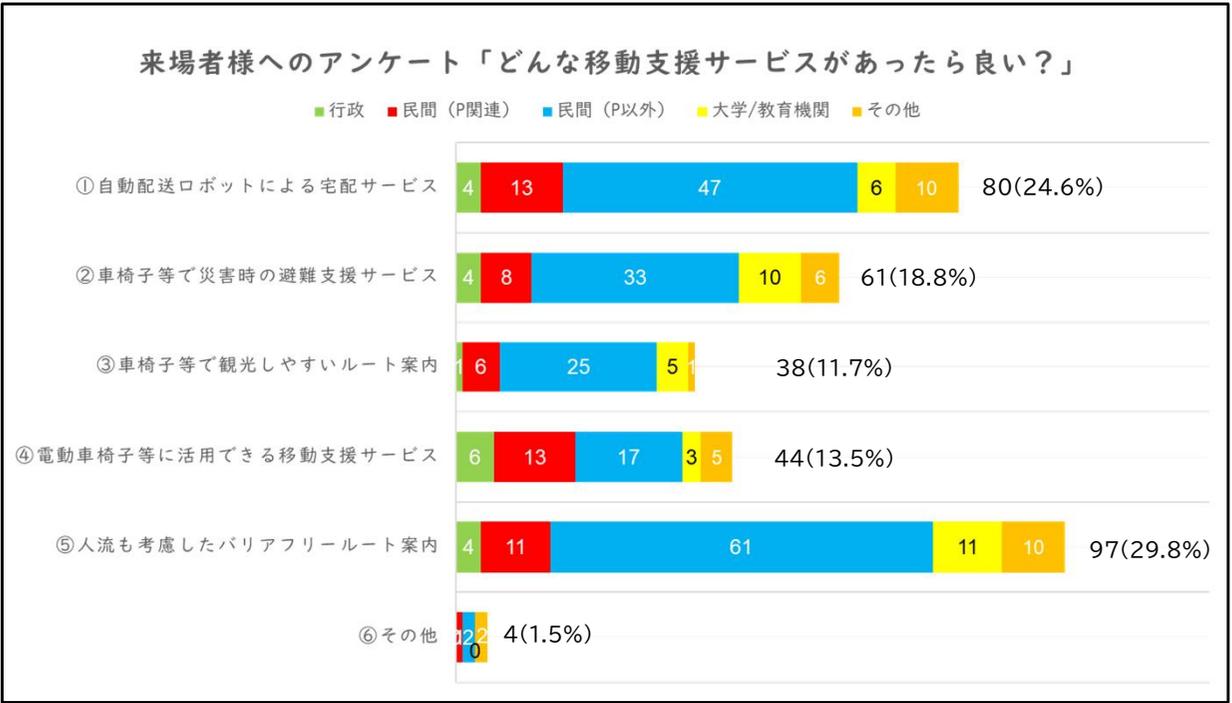
②車椅子等で災害時の避難支援サービス

③車椅子等で観光しやすいルート案内

④電動車椅子等に活用できる移動支援サービス

⑤人流も考慮したバリアフリールート案内

⑥その他



色分類	区分	区分説明
1 緑	行政	
2 赤	民間 (P関連)	民間事業者・各種団体・プロジェクト関連 (ロボット/移動支援/障害者支援)
3 青	民間 (P以外)	民間事業者・各種団体・プロジェクト関連以外 (2以外)
4 黄	大学/教育機関	
5 オレンジ	その他	一般来場者等





○ほこナビDPは、歩行空間における移動支援サービスの普及・高度化を促進するため、歩行空間NWデータの効率的な整備・管理・更新や自動配送ロボット等の走行に活用できる3次元地図の統合処理、バリアフリー施設等データの整備・管理・更新の効率化のための機能を持つシステム(現行版はプロトタイプ)。  
 ○今後、自治体等への支援ツールとして広く活用していただくため、試行利用の場を増やし、操作性や機能性の改善を図る。

**オープンデータサイト**  
 (2025年9月30日より公開)

※現時点未公開  
**バリアフリー施設等データ整備システム**

※現時点未公開  
**歩行空間NWデータ整備システム**

**3次元地図整備システム**  
 (2025年5月23日より試行運用開始)

各システムで作成したデータを公開・提供

**【市民参加等も可能なデータ整備・更新機能】**  
 市民参加等によりバリアフリー施設等のデータを簡易に整備・更新が出来る機能

**【施設データ整備・管理・更新機能】**  
 バリアフリー施設等の情報を収集のうえ、施設データを整備・管理・更新する機能

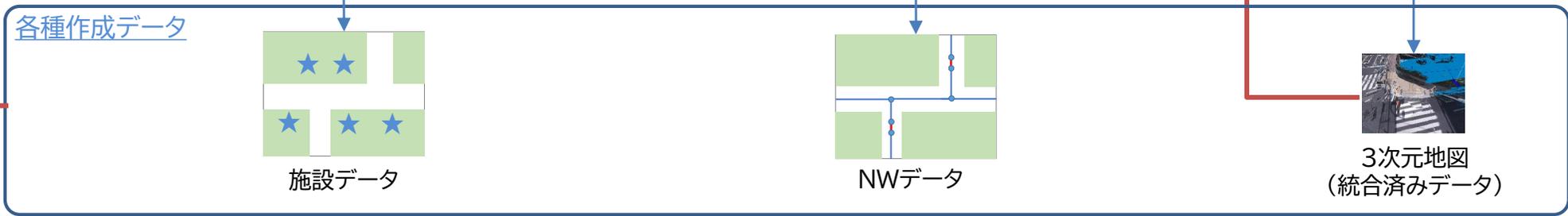
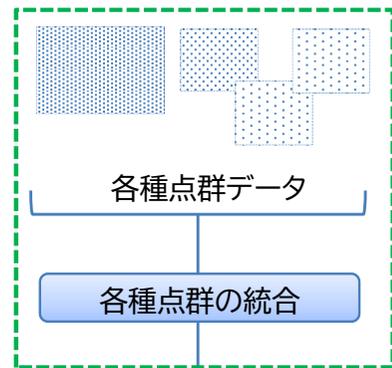
**【市民等からの現地情報報告等機能】**  
 現地調査、市民投稿等により得た情報をもとにNWデータを整備・管理・更新する機能

**【NWデータ整備・管理・更新機能】**  
 3次元地図(点群)、既存の地図データや航空写真データ等を用いて、NWデータを整備・更新する機能

**【3次元地図統合機能】**  
 様々な点群データをフィルタリング、統合し、3次元地図を整備・管理・更新する機能

施設データの整備(新規作成・更新)      施設データの整備(新規作成・管理・更新)

NWデータの整備(新規作成・管理・更新)



プログラム処理でデータを作成の上、必要に応じて手動操作によるデータの編集を実施する。

※バリア情報を含まない歩行空間のネットワークデータ